

平成29年度（鶴見総合高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつや、セクハラ行為の発生を未然に防止する。
3	体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の人権に十分配慮した指導を行う。
4	入学者選抜、成績処理及び学進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、履修指導・登録・成績処理等、学務管理上の業務及び調査書等のミスを未然に防止する。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の流出を未然に防止する。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守し、県民から信頼される行動をとる。
7	業務執行体制の確保等	情報共有、相互チェック体制、業務協力体制を構築する。

8	会計事務等の 適正執行	適正な私費の徴収・執行 を行う。	4月に諸会費の振替誤りの防止と私費会計のポイントについて、資料をもとに事故防止会議を行うとともに、私費会計担当者対象の研修を実施し、徴収・執行のルールの確認を行い、私費会計の適正な処理の徹底を図った。また、4月、10月の私費会計監査を厳正に実施するとともに、校内サーバー上で私費会計基準、様式等を共有できるよう整備した。業者選定委員会を適正に実施した。
---	----------------	---------------------	--

○ 平成 29 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成 30 年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

・平成 29 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況

不祥事ゼロプログラムに基づいた年間計画に従って、一部について予定の変更を行ったが、外部講師による研修会や、毎月の事故防止会議を効果的に実施することができた。また、事故・不祥事案が他校で発生したときには、朝の打ち合わせ等で、具体的な事例として職員に提示し、事故・不祥事防止意識の向上を図った。さらに、個別の面接を通して、公務員としての自覚を喚起するとともに、誰でも当事者になる可能性があることを強く意識させ、職員一人ひとりの事故・不祥事防止についての意識を高めることができたと考える。

・平成 30 年度に取り組むべき課題

体罰・不適正な指導の防止、入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止、個人情報等の管理・情報セキュリティ対策、会計事務等の適正執行を重点課題として取り組む。事故・不祥事に係る新聞等の資料を掲示し、意識啓発を適切に行うとともに、月 1 回開催される職員会議の冒頭に事故防止会議を開催し、啓発資料によるチェック票を回収するなど、職員の事故防止に対する意識を高め、継続させる取組みを行う。今後も、計画的な取組みを、積み重ね、適切な検証により計画を見直し、より一層効果的な方策を実施していきたい。